

# 平成29年度学校自己評価システムシート (県立越生高等学校)

目指す学校像	生徒一人一人の長所を伸ばし、社会で活躍できる「人財」の育成を目指す学校
--------	-------------------------------------

重点目標	1 少人数授業(指導)を活用して「わかる授業」を創造し、学習意欲を高め、基礎学力・専門的な能力を定着・向上させて、生きる力を育む。 2 豊かな心と自主的・自律的な態度を育み、普通科及び美術科のそれぞれの特色を生かして自己の在り方生き方を考えさせ、夢を実現するための、生きる力を育む。 3 生徒、保護者、地域、教職員の信頼関係を深め、高い意欲を持った入学志願者の確保にもつながる開かれた学校づくりに努める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	3名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<b>【現状】</b> ・生徒は意欲的に学習に取り組んでいるが、基礎学力に課題を抱える生徒もいる。一方で意識の高い意欲的な生徒もいるため、生徒一人ひとりを伸ばす学習環境の整備が求められている。 <b>【課題】</b> ・「わかる授業」の展開について生徒・保護者の満足度は高いが、家庭学習の定着と成績上位者の学力をさらに伸ばすための取組みが必要である。	○学びの質の向上を目指す。  ○より魅力的な学習環境の整備を推進する。	①授業改善のための「授業アンケート」の実施 ②「アクティブラーニング」について各教科で研究 ③授業公開の充実と授業力向上を目指した研究協議会を開催 ④授業でのICT機器の活用を推進 ⑤資格取得の奨励 ⑥家庭学習を推進する取組を実施	①授業アンケートでの生徒・保護者の授業満足度 ②研究・研修の実施状況、生徒・保護者の授業(教科指導)に対する満足度 ③各教科での授業研究の状況 ④授業におけるICTの活用率 ⑤検定試験の受験者数及び合格率 ⑥家庭学習時間の増加	<b>■「学びの質の向上」を目指した取組</b> を実施 ①授業は「わかりやすい」と回答した生徒71%、保護者61% ②外部研修等参加教員10名、「学習指導が丁寧である」と回答した保護者62%・生徒61% ③全科目授業公開実施。授業研究支援訪問、未来学び公開授業を実施 ④ICT等の活用(工夫)率88% ⑤検定試験(英・漢・商)受験者数及び合格率共に前年比上昇 ⑥家庭学習時間が昨年度から微増  <b>■新しい時代に求められる学習内容・学習環境の整備を推進</b> ①教育課程改編の具体案が提示され教育課程委員会による検討が始まった。 ②進路指導部や学年が主体となった進学補習等を実施	B	○今年度、他校の研究授業や研修等への積極的な参加が見られ、教員の授業改善の熱心な取組が伺えた。来年度はその成果をもとに更なる「わかる授業」の発展を期待したい。 ○検定資格試験については受験料がネックになっている。受験生徒が確実に合格できるような指導体制を確立するとともに、更なる資格取得の奨励を目指したい。 ○家庭学習習慣の定着が課題である。勉強は必要だと感じている一方で実行できない生徒をどのように指導するかが課題である。
2	<b>【現状】</b> ・生徒は目標実現を目指して努力しているが、進路に対する意識が低い生徒もいる。生徒一人一人を伸ばす、きめ細やかな生徒指導及び進路指導が求められている。 <b>【課題】</b> ・2、3年生の部活動加入率が低い。部活動を活性化させ、生徒の活躍の場を広げたい。 ・進路未定者が年々減少しつつあり、進路指導の充実を伺えるが、「進路の手引き」を学校全体で活用するなど、より効率的な指導体制を整備する必要がある。	○規律ある学校生活を通して、豊かな心と健やかな体を育成する。  ○進路意識の向上と進路実現を図る進路指導を学校全体で行う	①「授業5原則」、「学校生活三カ条」を学校全体で徹底 ②教育相談体制を整備するとともに、様々な課題をもつ生徒に対するケアの充実 ③部活動加入率上昇、活動の活性化 ④外部専門家と連携した支援体制の構築	①「授業5原則」にきちんと取り組む生徒の割合と「学校生活三カ条」を心掛けている生徒の割合 ②SCの新たな活用方法の提案 ③部活動に積極的に参加する生徒の割合、各種大会等への実績向上 ④「合理的配慮」を検討する委員会の設置	<b>■個に応じたより丁寧な指導・支援の実現</b> ①学習規律指導をしっかりと行っている生徒の割合77% ②SCによる教員研修を1回実施 ③公式戦参加の運動部が増加 ④「合理的配慮検討委員会(仮称)」を設置した。	B	○「授業5原則」、「学校生活三カ条」を更に定着させ、本校生徒としての誇りを持たせる。 ○公式戦に参加する運動部が増加した一方で、廃部や休部となった運動部もある。部活動による放課後の活性化を含め、勉強以外で生徒が活躍し、自信をつける場を設定することが急務である。 ○新しく設置した「合理的配慮検討委員会(仮称)」の効果的な活動を研究する必要がある。 ○研修会等により保護者・教員の進路に対する意識を高めることができた。今後は、進路指導と学習指導の一体化を図り、より充実した進路指導、学習指導を計画することが重要である。
3	<b>【現状】</b> ・HPや広報紙等による情報発信、美術科の作品展示などにより、学校と家庭・地域との連携を進めている。 <b>【課題】</b> ・学校の発信力を高め、「開かれた学校づくり」を更に推進する必要がある	○家庭・地域との連携をさらに充実させる。  ○HPや広報紙等を活用した情報発信に努め、中学生に対して本校の魅力を発信する。	①メールシステムを活用したPTA活動の周知と行事への参加呼びかけ ②学校公開講座の実施 ③地域主催のボランティア活動への参加	①一斉送信メールの定期的な活用 ②学校公開講座参加者数の増加 ③地域ボランティアへの参加生徒の増加  ①HPの更新回数の増加 ②学校説明会参加者数の増加と参加者アンケートでの満足度 ③中学校訪問の回数	<b>■家庭・地域との連携深化</b> ①降雪時等や行事等に関する連絡を定期的に配信。活用率が昨年度比増 ②夏季学校公開講座(2講座)を実施(小学生・保護者計80名参加) ③越辺川河川清掃ボランティア10名の生徒が参加  <b>■学校発信力の向上を目指した取組</b> ①HP更新回数は昨年度並み。美術科の取組を「ゆずの里CTV」でシリーズ放映 ②昨年度から学校説明会参加者及び満足度が増加 ③生徒募集部を中心とした訪問回数は近隣校を中心に昨年度比大幅増	A	○一斉送信メールやHPなど効果的に活用することができた。今後は活用できる教員の数を増加させたい。 ○「開かれた学校づくり」を更に推進し、特に、町内の公共機関との連携を一層深めることが重要である

学校関係者評価	実施日 平成30年2月6日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アクティブ・ラーニング」などに、全教科一斉に取り組むと、子どもたちはもっと話し合いに慣れてくる。話し合いを上手く進めるには、一部の教科だけではなく、学校全体で取り組むことが大切である。</li> <li>・活発に意見交換できるようにすれば、生徒の発言力を高められる。発言力を高められるように授業改善を目指してほしい。</li> <li>・中学校でもALを行っているので、高校でもそれを発展させる取組が必要である。未来学びプロジェクトや研究授業などを通して、授業改善を図ることは有意義である。</li> <li>・家庭学習ができないという生徒が多いので、課題(宿題)があるとよい。</li> <li>・教育課程の改編や資格取得の奨励など、学校として、新しい取組があることは、生徒達にとっても良いことである。</li> <li>・就職希望者のほぼ全員が内定を得ていることは、素晴らしい。大学進学についても、ぜひ国公立も目指して欲しい。</li> <li>・ネットトラブルに対して、目に見えないところでのトラブル防止や相談しやすい環境について取組を進めてはどうか。</li> <li>・一時期に比べると、地域からの苦情は減っており、生徒のマナーは全体的に向上している。</li> <li>・学校全体としての雰囲気がとてもよくなっているため、この良い雰囲気を多くの方々にも知ってもらい機会を充実すれば、在校生の意識も高まるのではないかと。</li> <li>・中庭の活用を検討してはどうか。学校行事で中庭が使われていないのはさみしい。普段の学校生活でルールを決めて使用させてはどうか。</li> <li>・白梅祭や体育祭など、学校行事では生徒が伸び伸びしていい雰囲気が感じられた。</li> <li>・越生町の中央公民館等への美術科作品展示は、地域への良いアピールになっている。</li> <li>・白梅祭の開催は越生高校の良さを発信する良い機会である。展示や企画なども素晴らしいので、今後、更に発展させてほしい。</li> <li>・白梅祭(文化祭)の運営を工夫し、より多くの来場者に来てもらい、越生高校の良さを地域の方々や他校生徒にも知ってもらいたい。</li> <li>・PTAとしては白梅祭に限らず、学校全体を公開する機会を増やしてほしいと考えている。もっと開かれた学校を目指し、いろいろと工夫を考え頑張してほしい。</li> </ul>